

管理薬剤師 殿

広島大学病院 てんかんセンター 飯田幸治
薬剤部 松尾裕彰**研究課題名「薬局に対するてんかん治療に関する意識調査」研究へのご協力について(再依頼)**

てんかん治療において、抗てんかん薬は必要不可欠です。本研究は、広島大学病院てんかんセンターが、薬局薬剤師の先生方のてんかん患者や抗てんかん薬への関わりの現状、および先生方が日頃感じておられる問題点について調査させていただきます。この調査により、てんかん診療における薬剤師の役割を明確にすることができ、今後のてんかん診療の質の向上に繋がると期待されます。

お忙しいところと存じますが、下記研究内容をご確認の上アンケート調査(10-15分程度)にご協力賜りますようお願いいたします。**※アンケート回答期限を2023年11月30日(木)まで延長しました。**

記

1. 研究課題名

薬局に対するてんかん治療に関する意識調査

2. 目的・意義

てんかん治療において、抗てんかん薬は必要不可欠です。抗てんかん薬をめぐる問題には、薬物間相互作用や、てんかんの閾値を下げる薬剤の使用、後発医薬品の問題など、薬局の薬剤師の先生方の役割は重要であると思われます。しかしながら、てんかん治療において、薬局の薬剤師の関わりの現状などは報告がありません。この度、広島大学病院てんかんセンターより、薬局の先生方のてんかん治療に対する取り組みや意識について調査させていただき、今後のてんかん診療の質の向上に繋がりたいと思います。

3. 対象

広島県薬剤師会会員薬局の管理薬剤師または代表薬剤師(回答は1薬局1回)

4. 研究方法

てんかん患者に対する関わりについてMicrosoft Formsまたは紙面によるアンケート調査を実施し、回答を集計・解析します。アンケートは個人の情報は収集いたしません。また、アンケートの回答を持って本研究に同意とさせていただきます。無記名アンケートで回答が識別できないため、アンケート提出後の同意の撤回は出来ませんのでご了承ください。また本研究に参加されないことの不利益はありません。(アンケート内容:別紙)

5. 研究期間

許可日 ~2026年3月31日

6. 生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

負担としてアンケートを回答する時間(10-15分)があります。研究に参加することでのリスク及び利益はありません。

7. 試料・情報の保管・廃棄方法

薬剤部の外部に接続していないPC、鍵のかかるキャビネットで適切な方法で管理し、廃棄時は紙資料は細断・溶解処理をして、データは確実に消去します。

8. 研究によって得られた結果の取扱い

本研究で得られた結果について、希望があれば個別に説明いたします。

9. 本研究に関する情報の提供について

本研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をご覧になりたい場合は、研究に支障のない範囲でお知らせすることができますので、下記お問合せ先にご連絡ください。

10. 資金源および利益相反について

本研究は本学の運営費交付金により実施され、外部の企業等からの資金提供はうけておらず、研究者が独立して計画して実施するものです。研究担当者の中にはてんかんの啓蒙・教育活動のため関連団体での講演等を行っている者もいますが、本研究の実施や解析、結果の解釈に影響を及ぼすことはありません。

なお本研究は広島大学疫学倫理審査委員会の審査を受け、広島大学担当理事の許可を得ています。

<アンケートの回答期限>

本アンケートに同意いただける場合は、恐れ入りますが **2023年11月30日(木)**までに

下記 QR コードからアンケートフォームにてご回答、または広島県薬剤師会ホームページに掲載の情報よりアンケートフォームまたは FAX(082-257-5598)にて返信くださいますようお願いいたします。

アンケート URL(Microsoft Forms フォーム)

<https://forms.office.com/r/7iFibXx85y>



お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL:082-257-5572 FAX:082-257-5598 Mail:hyoshi@hiroshima-u.ac.jp

広島大学病院 薬剤部 松尾 裕彰(研究責任者)

広島大学病院 てんかんセンター/薬剤部 吉川 博(担当者)

管理薬剤師 殿

薬局名 _____

地域（支部）広島市、安佐、安芸、佐伯、大竹、廿日市、東広島、呉
竹原、福山、三原、尾道、因島、三次

本アンケート調査は「薬局に対するてんかん治療に関する意識調査」の研究計画に基づいて実施させていただきます。

てんかん治療において、薬物間相互作用やてんかん閾値を下げる薬剤、後発医薬品の問題など薬局薬剤師の先生方の役割は重要です。しかしながら医師への問い合わせ・情報提供等でどのような関わりを行っているか報告はありません。このアンケートは薬局の先生方のてんかん治療に対する取り組みや意識、先生方が日頃感じておられる問題点について調査させていただき、関与状況・問題点を明らかにし、今後のてんかんセンターの取り組みの参考にさせていただきます。

調査結果は学会や論文で発表させていただくことがございます。ただし、個人、施設が特定されることはありません。また、アンケートにお答えいただかなかつたとしても不利益はありません。アンケート調査にご協力いただける場合は、下記同意欄にチェックをいれてください。

本アンケートは管理薬剤師等の薬局の代表者が回答してください。

同意欄： 私はアンケート調査に協力します

基礎項目

1. 薬剤師数（ ）人
2. 1月あたり処方箋枚数
～499枚、500～999枚、1000～1999枚、2000～2999枚、3000枚～3999枚、4000枚～
3. 調剤基本料
1、2、3、特別調剤基本料
4. 認定薬局の取得について(複数選択可)
地域連携薬局、専門医療機関連携薬局、健康サポート薬局、
その他（ ）
5. かかりつけ薬剤師の人数
（ ）人

6. 処方箋を応需する主な医療機関（複数回答可）

病院以外（クリニック、医院等）は診療科を選択

病院（てんかん患者あり）、 病院（てんかん患者なし）

クリニック、医院

脳外科、 脳神経内科、 小児科、 精神科、 その他（ ）

てんかん患者への対応に関する項目

1. 処方箋応需状況

1-1 てんかん患者の対応を行ったことがありますか？

（抗てんかん薬を含む処方箋応需や服用歴のある患者からの相談対応等）

はい、 いいえ

1-2 てんかん患者対応の頻度（一番近いものをお選びください）

毎日、 2-3日に1回、 週に1回、 2週に1回、 月に1回またはそれより少ない頻度

1-3 抗てんかん薬（てんかん以外の用途を除く）を含む処方箋交付医療機関について（複数選択可）

広島大学病院、 広島大学病院以外の病院、 診療所、 なし

1-4 てんかん患者の自動車運転の免許取得・更新状況について把握されていますか

把握している、 概ね把握している、 ほとんど把握していない、 把握していない

1-5 てんかん患者の自動車運転の免許取得・更新状況について把握はどのようにされていますか（複数選択可）

患者から聴取、 患者家族から聴取、 てんかん薬処方医に確認

その他（ ）

2. 抗てんかん薬の相互作用について

（てんかん患者対応の無い薬局も、今後あった場合を想定して以降の設問にお応えください）

2-1 相互作用のチェックは何を参考に行っていますか（複数選択可）

添付文書、インタビューフォーム

システムによる自動チェック（ソフト名：メルフィン、むすび、メディコム等）

相互作用検索ツールによる検索（SAFE-DI、Lexicomp など）

検索ツール名：（ ）

その他 ()

2-2 抗てんかん薬が新規処方された場合について

(抗てんかん薬と併用注意薬が別々の医療機関から処方されている場合を想定)

患者が服用中の薬剤が、新規開始の抗てんかん薬と「併用注意」であった場合、どのような対応をしていますか。(影響が抗てんかん薬に及ぶ場合を想定) (複数回答可)

- 患者やその家族等に説明
- 併用注意薬処方医に問い合わせ
- 併用注意薬処方医に情報提供 (トレーシングレポートなど)
- 抗てんかん薬処方医に問い合わせ
- 抗てんかん薬処方医に情報提供 (トレーシングレポートなど)
- 患者のその後の症状のフォローアップ
- 特になにもしていない
- その他 ()

2-3 2-2 で併用注意薬処方医への「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合に回答してください。どの程度されていますか

- 必ず行う, 必要性を勘案して適宜, ほとんど行わない

2-4 2-3 で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。(複数回答可)

- 抗てんかん薬の血中濃度が変動すると予想される場合
- てんかんコントロール不良となることが懸念される場合
- 抗てんかん薬の副作用が懸念される場合
- 自動車運転の免許を取得・更新されている場合
- その他 ()

2-5 2-2 で抗てんかん薬処方医への「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合。どの程度行っていますか

- 必ず行う, 必要性を勘案して適宜, ほとんど行わない

2-6 2-5で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。(複数回答可)

- 抗てんかん薬の血中濃度が変動すると予想される場合
- てんかんコントロール不良となることが懸念される場合
- 抗てんかん薬の副作用が懸念される場合
- 自動車運転の免許を取得・更新されている場合
- その他

()

2-7 抗てんかん薬服用患者に、「併用注意」薬剤の新規処方があった場合、どのような対応をしていますか。

(影響が抗てんかん薬に及ぶ場合を想定) (複数回答可)

- 患者やその家族等に説明
- 併用注意薬処方医に問い合わせ
(抗てんかん薬と併用注意薬が同一の医師から処方された場合を含む)
- 併用注意薬処方医に情報提供 (トレーシングレポートなど)
(抗てんかん薬と併用注意薬が同一の医師から処方された場合を含む)
- 抗てんかん薬処方医に問い合わせ (抗てんかん薬と併用注意薬が別々の医師からの処方である場合)
- 抗てんかん薬処方医に情報提供 (トレーシングレポートなど)
(抗てんかん薬と併用注意薬が別々の医師からの処方である場合)
- 患者のその後の症状のフォローアップ
- 特になにもしていない
- その他

()

2-8 2-7で**併用注意薬処方医**に「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合。どの程度されていますか

- 必ず行う, 必要性を勘案して適宜, ほとんど行わない

2-9 2-8で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。(複数回答可)

- 抗てんかん薬の血中濃度が変動すると予想される場合
- てんかんコントロール不良となることが懸念される場合
- 抗てんかん薬の副作用が懸念される場合
- 自動車運転の免許を取得・更新されている場合
- その他

()

2-10 2-7で抗てんかん薬処方医に「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合。どの程度されていますか
□必ず行う, □必要性を勘案して適宜, □ほとんど行わない

2-11 2-10で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。(複数回答可)

- 抗てんかん薬の血中濃度が変動すると予想される場合
- てんかんコントロール不良となることが懸念される場合
- 抗てんかん薬の副作用が懸念される場合
- 自動車運転の免許を取得・更新されている場合
- その他 ()

2-12 相互作用チェックについて困っていることはありますか？(複数回答可)

- 添付文書の情報では不足している
- すべての薬歴把握が困難
- 併用可否の判断が困難
- その他 ()

2-13 相互作用チェックについてどのようなツールがあれば便利ですか？(自由記載)

()

3. てんかん閾値を下げる薬剤について

てんかん閾値を下げる薬剤の例(てんかんガイドライン 2018 を参考)

- ・抗うつ薬(イミプラミン、アミトリプチリン、軽度ながら SSRI など)
- ・抗精神病薬(クロルプロマジン、チオリダジン)
- ・気管支拡張薬(アミノフィリン、テオフィリン)
- ・抗菌薬(キノロン等)
- ・鎮痛薬(フェンタニルなど)
- ・抗腫瘍薬(ビンクリスチン、メトトレキサート)
- ・筋弛緩薬(バクロフェン)
- ・抗ヒスタミン薬(特に第1世代)

3-1 てんかん患者でてんかん閾値を下げる薬剤について、どのようにチェックしていますか（複数回答可）

添付文書、インタビューフォーム

てんかん関連の書籍

特にチェックしていない

その他資料

(

)

3-2 てんかん患者にてんかん閾値を下げる薬剤の新規処方があった場合は、どのような対応をしていますか

（複数回答可）

患者やその家族等に説明

てんかん閾値を下げる薬剤処方医に問い合わせ

（抗てんかん薬処方医がてんかん閾値を下げる薬剤を処方した場合も含む）

てんかん閾値を下げる薬剤処方医に情報提供（トレーシングレポートなど）

（抗てんかん薬処方医がてんかん閾値を下げる薬剤を処方した場合も含む）

抗てんかん薬処方医に問い合わせ

（抗てんかん薬処方医以外がてんかん閾値を下げる薬剤を処方した場合）

抗てんかん薬処方医に情報提供（トレーシングレポートなど）

（抗てんかん薬処方医以外がてんかん閾値を下げる薬剤を処方した場合）

患者のその後の症状のフォローアップ

特になにもしていない

その他

(

)

3-3 3-2 でてんかん閾値を下げる薬剤の処方医に「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合。どの程度されていますか

必ず行う, 必要性を勘案して適宜, ほとんど行わない

3-4 3-3 で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。（複数回答可）

てんかんコントロール不良となることが懸念される場合

抗てんかん薬処方医以外の処方であった場合

自動車運転の免許を取得・更新されている場合

その他

(

)

3-5 3-2 で抗てんかん薬処方医に「問い合わせ」「情報提供」を選んだ場合。どの程度されていますか
必ず行う, 必要性を勘案して適宜, ほとんど行わない

3-6 3-5 で「必要性を勘案して適宜」を選んだ場合、どのような基準で行っていますか。(複数回答可)
てんかんコントロール不良となることが懸念される場合
てんかん薬処方医以外の処方であった場合
自動車運転の免許を取得・更新されている場合
その他 ()

3-7 これまでにてんかん閾値を下げる薬剤として、問い合わせ・情報提供をおこなったことのある薬剤を教えてください(複数回答可)
抗うつ薬, 抗精神病薬, 気管支拡張薬, 抗菌薬, 鎮痛薬, 抗腫瘍薬, 筋弛緩薬
抗ヒスタミン薬
その他 ()

3-8 てんかん閾値を下げる薬剤のチェックについて困っていることはありますか?(複数回答可)
てんかん閾値を下げる薬剤の把握が困難
すべての薬歴の把握が困難
併用可否の判断が困難
その他 ()

3-9 どのようなツールがあれば便利ですか?(自由記載)
()

4. 抗てんかん薬の後発医薬品への変更について (抗てんかん薬のてんかん以外の用途の場合を除く)

4-1 抗てんかん薬を後発医薬品へ変更したことがありますか?

はい, いいえ、抗てんかん薬(てんかん用途目的)は変更していない

4-2 4-1 で「はい」を選択した場合は以下を回答してください

どのような場合に後発医薬品の調剤をおこなっていますか（複数回答可）

新規開始

処方医に確認が取れた場合

患者希望

患者の元々の使用薬剤が後発医薬品であった場合

その他（）

4-3 後発医薬品へ変更した際にどのような方法で処方元に情報提供を行っていますか。（複数回答可）

お薬手帳, トレーシングレポート, 電話連絡（事前確認）

その他（）

4-4 薬局における後発医薬品の選択基準を教えてください。

（）

4-5 後発医薬品に変更後、コントロール不良などを経験したことがありますか

はい, いいえ

その他（）

5. 抗てんかん薬の調剤について

5-1 てんかん患者での調剤で困ったことはありますか（供給問題）

（）

5-2 てんかん患者での調剤で困ったことはありますか（供給問題以外）

（）

6. てんかんに関する情報について

6-1 どのような研修会が必用でしょうか

てんかん治療について

抗てんかん薬の選択について

抗てんかん薬の相互作用について

てんかん患者への関わり方について

その他 ()

7. てんかん患者への対応について、処方する医師や病院薬剤師に求めること。要望等あれば教えてください。

()

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。